

平成22年度外部評価委員会

第1章 研究評価体制

1. 独立行政法人土木研究所研究評価要領

土木研究所が策定した「独立行政法人土木研究所研究評価要領」（以下、「研究評価要領」という。）の全文を示す。

独立行政法人土木研究所研究評価要領

第1章 総則

（目的）

第1条 この要領は、独立行政法人土木研究所（以下「研究所」という。）が実施する研究の評価に当たり、必要となる事項を定めることを目的とする。

（内部評価委員会）

第2条 研究所内部の役職員で構成される内部評価委員会を設置する。

- 2 内部評価委員会の委員構成は別表1のとおりとする。なお、委員自らがプロジェクトリーダー、グループ長等として担当する研究については、評価を行わないこととする。
- 3 内部評価委員会は、第4条に規定する研究について評価し、その結果を理事長に提出するものとする。
- 4 内部評価委員会による評価を効率的に実施するため、内部評価委員会の下に次のとおり部会を設置し、第4条に定める研究区分のうち、プロジェクト研究以外の研究区分の研究の評価を行う。
 - 一 第1部会は、つくば中央研究所、水災害・リスクマネジメント国際センター及び構造物メンテナンス研究センターが実施する研究を評価する。
 - 二 第2部会は、寒地土木研究所が実施する研究を評価する。
 - 三 部会の委員構成は、別表2のとおりとし、共通委員以外の委員については、出席を任意とする。

（外部評価委員会）

第3条 研究所外部の学識経験者で構成される外部評価委員会を設置する。

- 2 外部評価委員会は、第5条に規定する研究について評価し、その結果を理事長に提言するものとする。
- 3 外部評価委員会による評価を効率的に実施するため、外部評価委員会の下に第1～第4分科会を設置し、それぞれ別表3に示す対象分野の研究の評価を行う。
- 4 外部評価委員会の委員は、研究所と受委託の関係がない者のうちから理事長が選任して委嘱する。ただし、任期途中で研究所と受委託の関係が生じた場合、委嘱は解除されるものとする。
- 5 外部評価委員会及び分科会の委員構成は、別表4、別表5のとおりとする。
- 6 外部評価委員会及び分科会の委員の任期は2年とする。ただし、その再任は妨げない。

第2章 評価の対象となる研究

（内部評価委員会が評価する研究）

第4条 内部評価委員会が評価する研究は、次に掲げる研究区分を対象とする。

- 一 プロジェクト研究
- 二 重点研究
- 三 基盤研究
- 四 その他、理事長が必要と判断した研究

(外部評価委員会が評価する研究)

第5条 外部評価委員会が評価する研究は、次に掲げる研究区分を対象とする。

- 一 プロジェクト研究
 - 二 重点研究
 - 三 その他、理事長が必要と判断した研究
- 2 前項の規定に関わらず、プロジェクト研究の個別課題のうち、委員が共同研究者となっている共同研究及び競争的資金による研究に関連するものについては、当該委員は評価を行わないものとする。

第3章 研究の評価と結果の公表

(評価の種類)

第6条 内部評価委員会及び外部評価委員会による研究評価は、次に掲げるとおりとする。ただし、研究期間が3年以下及び第二号と第三号を同時期に実施する必要が生じた研究については、第二号の中間年における中間評価を省略することができる。

- 一 事前評価
- 二 中間年における中間評価
- 三 計画変更に伴う中間評価
- 四 事後評価
- 五 追跡評価

(事前評価)

第7条 事前評価は、原則として研究を開始する年度の前年度に実施し、次の事項について審議を行い、研究の実施の適否を評価する。

- 一 研究の必要性（社会的要請、土研実施の必要性）
- 二 達成目標
- 三 実施体制
- 四 研究手法
- 五 その他、研究の内容に応じて必要となる事項

(中間年における中間評価)

第8条 中間年における中間評価は、原則として研究を開始した年度の翌々年度に実施し、次の事項について審議を行い、研究の継続の適否を評価する。

- 一 研究の進捗状況
- 二 成果の発表
- 三 研究計画の修正の必要性
- 四 その他、研究の内容に応じて必要となる事項

(計画変更に伴う中間評価)

第9条 計画変更に伴う中間評価は、原則として研究計画の変更を行う前年度に実施し、次の事項について審議を行い、研究の継続及び研究計画の変更の適否を評価する。

- 一 研究の進捗状況
- 二 成果の発表
- 三 計画変更の必要性
- 四 その他、研究の内容に応じて必要となる事項

(事後評価)

第10条 事後評価は、原則として研究を完了した年度の翌年度に実施し、次の事項について審議を行い、実施した研究の成果を評価する。ただし、研究期間中に、事前評価を経て研究区分を変更した場合は、事後評価を省略することができる。

- 一 達成目標への到達度
- 二 成果の発表
- 三 社会への普及の取組
- 四 その他、研究の内容に応じて必要となる事項

(追跡評価)

第11条 追跡評価は、研究成果をより確実に社会へ還元させる視点で、成果の普及等を主体として実施する。

(評価結果の公表)

第12条 内部評価委員会による評価結果は、土木研究所ホームページ並びに業務実績報告書への記載により公表する。

2 外部評価委員会による評価結果は、土木研究所ホームページ並びに業務実績報告書への記載のほか、土木研究所資料として取りまとめて公表する。

第4章 研究の実施

(研究の実施)

第13条 第7条から第9条までの規定により評価された研究については、内部評価委員会及び外部評価委員会の結果を踏まえ、理事長が研究実施の採否を決定する。

第5章 その他

(研究評価委員会の事務局)

第14条 内部評価委員会及び外部評価委員会の事務局は評価・調整室とし、企画室と連携・協力して実施する。

附 則

この要領は、平成13年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成16年4月20日から施行する。

附 則

第1条 この要領は、平成18年4月1日から施行する。

第2条 土木研究所と北海道開発土木研究所の統合に伴う経過措置については、次の各号に定めるところによる。

一 土木研究所が実施し、平成17年度に終了した研究及び平成13年度から平成17年度にかけての中期計画に基づく研究の事後評価については、前条の規定に関わらず、改正前の「独立行政法人土木研究所研究評価要領」に基づいて実施する。

二 北海道開発土木研究所が実施し、平成17年度に終了した研究及び平成13年度から平成17年度にかけての中期計画に基づく研究の事後評価については、前条の規定に関わらず、平成14年1月4日独北研企第262号「独立行政法人北海道開発土木研究所評価規程」、同第263号「独立行政法人北海道開発土木研究所評価要領」及び平成15年4月1日独北研企第49号「プロジェクト研究「地球温暖化対策に資するエネルギー地域自立型実証研究」に関する技術支援委員会規程」に基づいて実施する。

三 前項の事後評価を行うにあたり、平成18年3月31日以前に北海道開発土木研究所理事長が委嘱した委員については、土木研究所理事長が委嘱したものとみなす。

四 第1項及び第2項の事後評価終了をもって、平成18年3月31日以前に土木研究所理事長が委嘱した委員及び第3項の委員の委嘱は解除されたものとみなす。

第3条 平成18年4月1日以降に改めて委嘱された委員により構成される外部評価委員会において委員長が決定するまでの間は、理事長が必要と認めることをもって、要領第3条第6項及び第4条第5項に定める委員長が必要と認めた場合とみなす。

附 則

この要領は、平成18年9月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年4月15日から施行する。

附 則

この要領は、平成21年3月31日から施行する。

附 則（平成22年11月15日規程第16号）

第1条 この要領は、平成22年11月15日から施行する。

第2条 平成22年度で完了する研究の事後評価については、前条の規定に関わらず、改正前の要領に基づいて実施する。

附 則（平成22年12月6日規程第20号）

この要領は、平成22年12月6日から施行する。

別表1

内部評価委員会の委員構成

委員長	理事長
委員	寒地土木研究所長 理事 審議役（寒地土木研究所） 研究調整監 研究調整監（寒地土木研究所） 地質監 企画部長 研究企画監 技術推進本部長 技術開発調整監 総括研究監 水災害・リスクマネジメント国際センター長 総務部長 材料地盤研究グループ長 水環境研究グループ長 水工研究グループ長 土砂管理研究グループ長 道路技術研究グループ長 水災害研究グループ長 耐震総括研究監 橋梁構造研究グループ長 管理部長 寒地基礎技術研究グループ長 寒地水圏研究グループ長 寒地道路研究グループ長 寒地農業基盤研究グループ長 特別研究監

別表 2

内部評価委員会の部会の委員構成

	第 1 部会	第 2 部会
共通委員	理事長 寒地土木研究所長 理事 …… 第 1 部会長 審議役（寒地土木研究所） …… 第 2 部会長 研究調整監 研究調整監（寒地土木研究所） 地質監 企画部長 研究企画監 技術推進本部長 技術開発調整監 総括研究監 水災害・リスクマネジメント国際センター長	
委員	総務部長 材料地盤研究グループ長 水環境研究グループ長 水工研究グループ長 土砂管理研究グループ長 道路技術研究グループ長 水災害研究グループ長 耐震総括研究監 橋梁構造研究グループ長	管理部長 寒地基礎技術研究グループ長 寒地水圏研究グループ長 寒地道路研究グループ長 寒地農業基盤研究グループ長 特別研究監

別表 3

外部評価委員会分科会の構成

分科会	対象分野
第 1 分科会	自然災害の防止、軽減、早期復旧
第 2 分科会	社会資本の戦略的な維持管理・長寿命化
第 3 分科会	社会インフラのグリーン化
第 4 分科会	自然共生

別表 4

外部評価委員会の委員構成

	氏名	所属分科会
委員長	辻本哲郎	第 4 分科会
副委員長	宮川豊章	第 2 分科会
委員	山田 正	第 1 分科会
	鈴木基行	第 1 分科会
	西村浩一	第 1 分科会
	三浦清一	第 2 分科会
	姫野賢治	第 2 分科会
	花木啓祐	第 3 分科会
	波多野隆介	第 3 分科会
	勝見 武	第 3 分科会
	細見正明	第 4 分科会
石川幹子	第 4 分科会	

別表 5

外部評価委員会分科会の委員構成

第 1 分科会

	氏名	所属
分科会長	山田 正	中央大学理工学部都市環境学科 教授
副分科会長	鈴木基行	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授
	西村浩一	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
委員	古関潤一	東京大学生産技術研究所人間・社会系部門 教授
	河原能久	広島大学大学院工学研究科社会基盤環境工学専攻 教授
	中川 一	京都大学防災研究所流域災害研究センター河川防災システム領域 教授
	杉井俊夫	中部大学工学部都市建設工学科 教授
	石川芳治	東京農工大学大学院農学研究院自然環境保全学部 教授
	上村靖司	長岡技術科学大学工学部機械系 准教授

第 2 分科会

	氏名	所属
分科会長	宮川豊章	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 教授
副分科会長	三浦清一	北海道大学工学部環境社会工学科 教授
	姫野賢治	中央大学理工学部都市環境学科 教授
委員	久田 真	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授
	山下俊彦	北海道大学工学部環境社会工学科 教授
	坂野昌弘	関西大学工学部都市環境工学科 教授
	萩原 亨	北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授
	高橋 清	北見工業大学社会環境工学科 准教授

第 3 分科会

	氏名	所属
分科会長	花木啓祐	東京大学大学院工学系研究科 教授
副分科会長	波多野隆介	北海道大学大学院農学研究院地域環境学分野 教授
	勝見 武	京都大学大学院地球環境学堂地球親和技術学廊社会基盤親和技術論分野 教授
委員	長野克則	北海道大学工学部環境社会工学科 教授
	河合研至	広島大学大学院工学研究科社会環境空間部門 教授
	梅津一孝	帯広畜産大学畜産衛生学研究部門環境衛生学分野 教授
	小梁川雅	東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 教授

第 4 分科会

	氏名	所属
分科会長	辻本哲郎	名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 教授
副分科会長	細見正明	東京農工大学工学部化学システム工学科 教授
	石川幹子	東京大学大学院工学系研究科 教授
委員	藤田正治	京都大学防災研究所流域災害研究センター流砂災害研究領域 教授
	井上 京	北海道大学大学院農学研究院環境資源学部 准教授
	岡村俊邦	北海道工業大学空間創造学部都市環境学科 教授
	斎藤 潮	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
	門谷 茂	北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門 教授

2. 評価の対象となる研究の体系および評価対象課題

1) プロジェクト研究及び重点研究の重点的な実施

平成23年度からの第3期中期計画においては、国土交通省技術基本計画、北海道総合開発計画および農林水産研究基本計画の上位計画を踏まえ、16のプロジェクト研究を設定している。

また、重点的研究開発を集中的に実施するため、プロジェクト研究50%、重点研究25%で、全研究費の75%を目途にプロジェクト研究と重点研究に充当する。

プロジェクト研究一覧

- ①気候変化等により激甚化する水災害を防止、軽減するための技術開発
- ②大規模土砂災害等に対する減災、早期復旧技術の開発
- ③耐震性能を基盤とした多様な構造物の機能確保に関する研究
- ④雪氷災害の減災技術に関する研究
- ⑤防災・災害情報の効率的活用技術に関する研究
- ⑥再生可能エネルギーや廃棄物系バイオマス由来肥料の利活用技術・地域への導入技術の研究
- ⑦リサイクル資材等による低炭素・低環境負荷型の建設材料・建設技術の開発
- ⑧河川生態系の保全・再生のための効果的な河道設計・河道管理技術の開発
- ⑨河川の土砂動態特性の把握と河川環境への影響及び保全技術に関する研究
- ⑩流域スケールで見た物質の動態把握と水質管理技術
- ⑪地域環境が自然生態系の保持に与える影響に関する研究
- ⑫環境変化に適合する食料生産基盤への機能強化と持続性のあるシステムの構築
- ⑬社会資本ストックをより長く使うための維持・管理技術の開発と体系化に関する研究
- ⑭寒冷な自然環境下における構造物の機能維持のための技術開発
- ⑮社会資本の機能を増進し、耐久性を向上させる技術の開発
- ⑯寒冷地域における冬期道路のパフォーマンス向上技術に関する研究

2) 評価の対象となる研究の体系

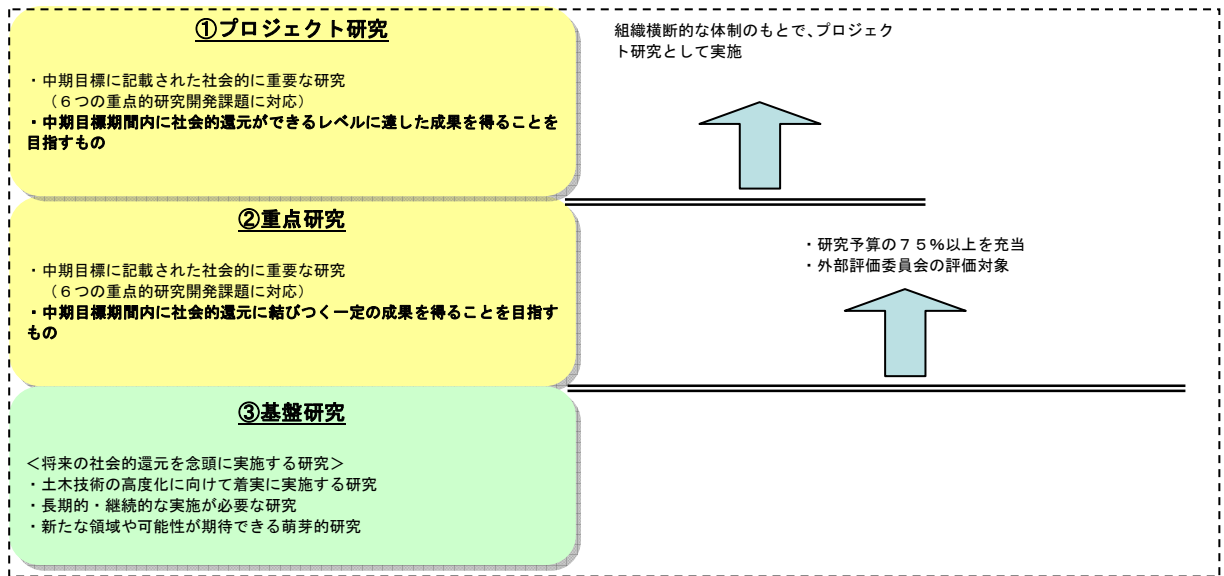
第3期中期計画における研究体系と各評価委員会における評価対象課題は、下図のとおりとなっている。

内部評価委員会においては、運営費交付金で行う全ての研究課題を対象として評価を実施する。

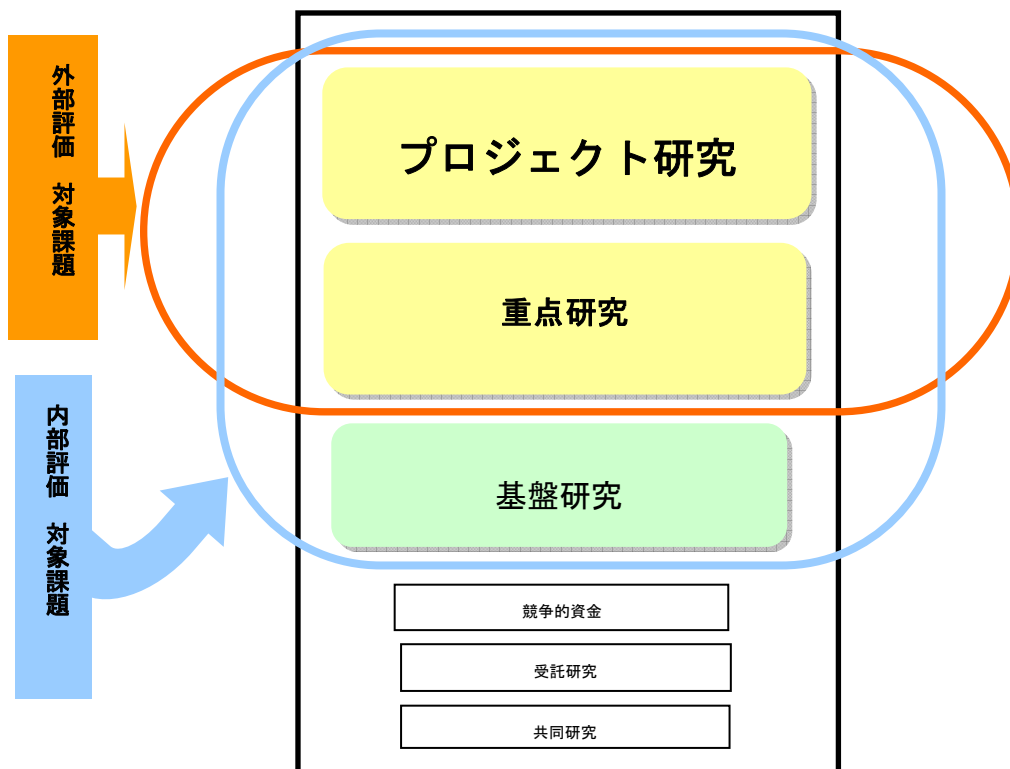
プロジェクト研究については、研究所外部の学識経験者で組織される外部評価委員会において評価を受ける。

また、重点研究についても、外部評価委員会で、その概要を説明しアドバイスを受けることとしている。

第3期中期計画における研究体系



内部評価委員会および外部評価委員会の対象課題



3) 研究評価を受ける研究課題

平成23年度から開始する総括課題16課題及び個別課題84課題の事前評価を実施した。

第1分科会

総括課題（プロジェクト名）

①気候変化等により激甚化する水災害を防止、軽減するための技術開発

個別課題

- ・不確実性を考慮した地球温暖化が洪水・濁水流出特性に与える影響に関する研究
- ・短時間急激増水に対応できる洪水予測に関する研究
- ・堤防システムの浸透安全性・耐震性評価技術に関する研究
- ・河川堤防の浸透・地震複合対策技術の開発

総括課題（プロジェクト名）

②大規模土砂災害等に対する減災、早期復旧技術の開発

個別課題

- ・大規模土石流・深層崩壊・天然ダム等異常土砂災害の推定・対策に関する研究
- ・火山噴火に起因した土砂災害に対する緊急減災対策に関する研究
- ・流動化する地すべりの発生箇所・到達範囲の予測に関する研究
- ・劣化過程を考慮した大規模岩盤斜面の評価・管理手法に関する研究
- ・規模の大きな落石に対応する斜面对策工の性能照査技術に関する研究
- ・道路のり面斜面对策におけるアセットマネジメント技術に関する研究
- ・大規模土砂災害等に対する迅速かつ安全な機械施工に関する研究
- ・大規模な土砂災害に対応した新しい災害応急復旧技術に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

③耐震性能を基盤とした多様な構造物の機能確保に関する研究

個別課題

- ・性能目標に応じた橋の地震時限界状態の設定法に関する研究
- ・山岳トンネルの耐震対策の選定手法に関する研究
- ・地盤変状の影響を受ける道路橋の耐震安全対策技術に関する研究
- ・降雨の影響を考慮した道路土工構造物の耐震設計・耐震補強技術に関する研究
- ・ロックフィルダム設計・耐震性能照査の合理化・高度化に関する研究
- ・再開発重力式コンクリートの耐震性能照査技術に関する研究
- ・台形CSGダムの耐震性能照査に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

④雪氷災害の減災技術に関する研究

個別課題

- ・気象変動の影響による雪氷環境の変化に関する研究
- ・暴風雪による吹雪視程障害予測技術の開発に関する研究
- ・路線を通じた連続的な吹雪の危険度評価技術に関する研究
- ・冬期の降雨等に伴う雪崩災害の危険度評価技術に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑤防災・災害情報の効率的活用技術に関する研究

個別課題

- ・リアルタイム計測情報を活用した土砂災害危険度情報の作成技術の開発
- ・総合的な洪水・水資源管理を支援する基盤システムの開発
- ・人工衛星を用いた広域洪水氾濫域・被害規模および水理量推定技術の開発

第2分科会

総括課題（プロジェクト名）

⑬社会資本ストックをより永く使うための維持・管理技術の開発と体系化に関する研究

個別課題

- ・土木機械設備のストックマネジメントに関する研究
- ・擁壁等の土工構造物の管理水準を考慮した維持管理手法の開発に関する研究
- ・コンクリート構造物の長寿命化に向けた補修対策技術の確立
- ・ダムの高寿命化のためのダム本体維持管理技術に関する研究
- ・既設舗装の高寿命化手法に関する研究
- ・道路トンネルの合理的な点検・診断手法に関する研究
- ・落橋等の重大事故を防止するための調査・診断技術に関する研究
- ・道路橋桁端部における腐食対策に関する研究
- ・橋梁のリスク評価手法に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑭寒冷な自然環境下における構造物の機能維持のための技術開発

個別課題

- ・高機能防水システムによる床版劣化防止に関する研究
- ・凍害・塩害の複合劣化を受けた壁高欄の衝撃耐荷力向上対策に関する研究
- ・農業水利施設の凍害劣化の診断手法と耐久性向上技術に関する研究
- ・泥炭性軟弱地盤における盛土の戦略的維持管理手法に関する研究
- ・融雪水が道路構造に与える影響及び対策に関する研究
- ・海水作用や低温環境に起因する構造物劣化・損傷機構の解明と対策に関する研究
- ・寒冷海域における沿岸施設の水中調査技術に関する研究
- ・自然環境調和機能を有する寒冷地沿岸施設の維持・管理手法に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑮社会資本の機能を増進し、耐久性を向上させる技術の開発

個別課題

- ・性能規定化に対応した新形式道路構造の評価技術に関する研究
- ・土工構造物の管理水準を考慮した性能設計に関する研究
- ・性能規定に対応したコンクリート構造物の施工品質管理・検査に関する研究
- ・凍害の各種劣化形態が複合したコンクリート構造物の性能評価法の開発
- ・鋼橋塗装の性能評価に関する研究
- ・積雪寒冷地における冬期土工の品質確保に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑯冬期道路のパフォーマンス向上技術に関する研究

個別課題

- ・冬期路面管理水準の判断支援技術に関する研究
- ・効率的な冬期路面管理のための複合的路面処理技術に関する研究
- ・ICTを活用した効率的、効果的な除雪マネジメント技術に関する研究

- ・積雪期における安心・安全な歩道の路面管理技術に関する研究
- ・郊外部における車線逸脱防止対策技術に関する研究

第3分科会

総括課題（プロジェクト名）

⑥再生可能エネルギーや廃棄物系バイオマス由来肥料の利活用技術・地域への導入技術の研究

個別課題

- ・低炭素型水処理・バイオマス利用技術の開発に関する研究
- ・下水道を核とした資源回収・生産・利用技術に関する研究
- ・地域バイオマスの資源管理と地域モデル構築に関する研究
- ・廃棄物系改質バイオマスの農地等への施用による土壌の生産性改善技術に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑦リサイクル資材等による低炭素・低環境負荷型の建設材料・建設技術の開発

個別課題

- ・低炭素型セメントの利用技術の開発
- ・低炭素社会を実現する舗装技術の開発および評価技術に関する研究
- ・環境安全性に配慮した建設発生土の有効利用技術に関する研究

第4分科会

総括課題（プロジェクト名）

⑧河川生態系の保全・再生のための河道設計・河道管理技術の開発

個別課題

- ・河川環境の総合的な評価指標・評価手法に関する研究
- ・寒冷地汽水域における底質及び生物生息環境改善に関する研究
- ・冷水性魚類の産卵床を考慮した自律的河道整備に関する研究
- ・河川生態系と河川流況からみた樹林管理技術に関する研究
- ・河川地形改変に伴う氾濫原環境の再生手法に関する研究
- ・積雪寒冷地河川における河岸耐性及び浸食メカニズムと多自然河岸保護工の機能評価技術に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑨河川の土砂動態特性の把握と河川環境への影響及び保全技術に関する研究

個別課題

- ・河床材料の粒度構成に着目した土砂管理技術に関する研究
- ・ダムからの土砂供給が河床環境及び水生生物に及ぼす影響に関する研究
- ・流域からの流出土砂が河川に及ぼす影響の評価と軽減技術に関する研究
- ・流水型ダムにおける河川の連続性確保に関する研究
- ・大規模農地流域からの土砂流出抑制技術に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑩流域スケールで見た物質の動態把握と水質管理技術

個別課題

- ・流域スケールで見た物質動態特性の把握に関する研究
- ・土地利用や環境の変化が閉鎖性水域の水質・底質におよぼす影響に関する研究
- ・水環境中における病原微生物の対策技術の構築に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑪地域環境が自然生態系の保持に与える影響に関する研究

個別課題

- ・積雪寒冷地における流域からの濁質流出と環境の影響評価・管理手法に関する研究
- ・積雪寒冷地の河口域海岸の形成機構解明と保全に関する研究
- ・積雪寒冷沿岸域の水産生物の生息環境保全に関する研究
- ・氾濫原における寒冷地魚類生息環境の影響評価・管理手法に関する研究

総括課題（プロジェクト名）

⑫環境変化に適合する食料生産基盤への機能強化と持続性のあるシステムの構築

個別課題

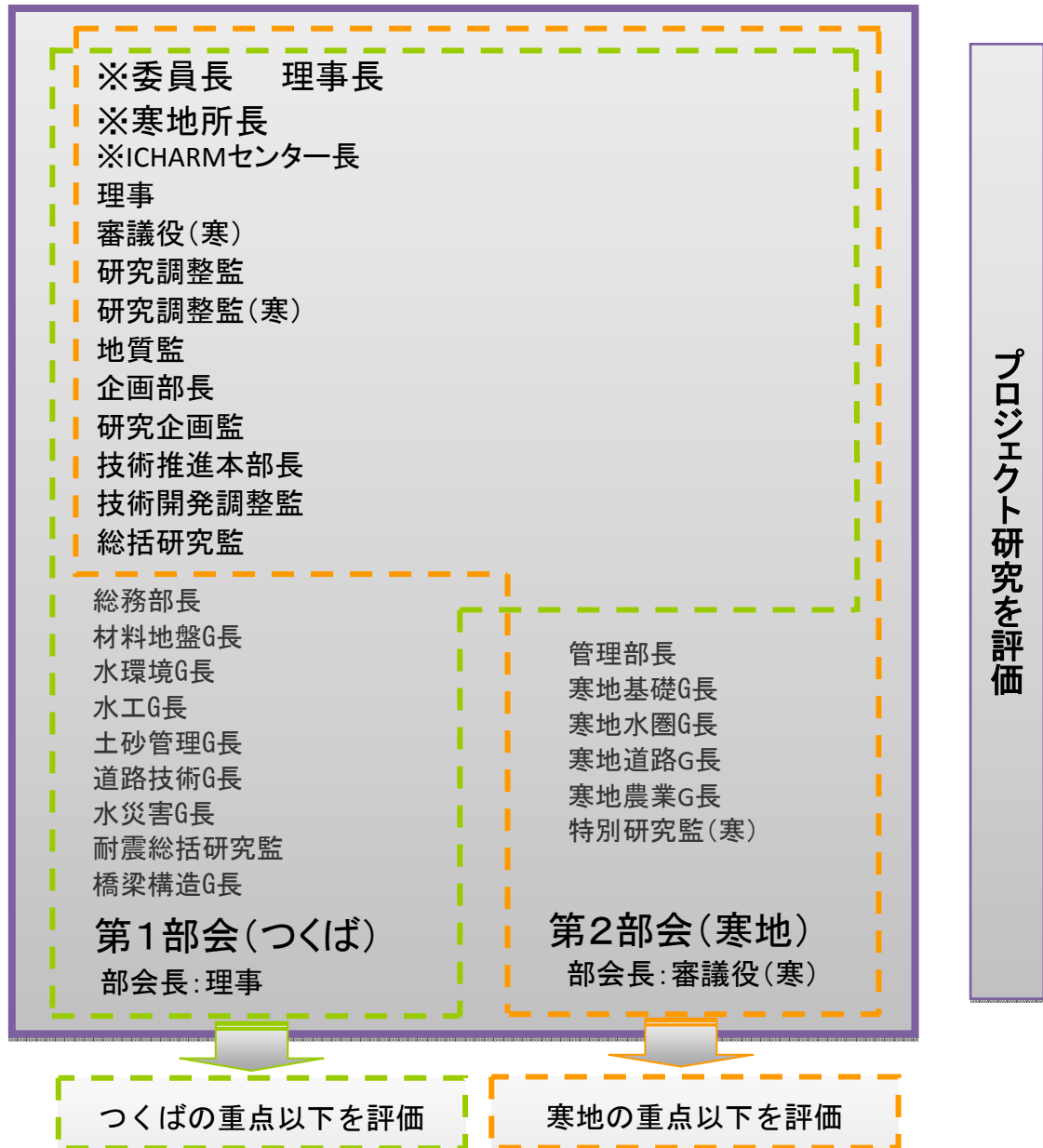
- ・積雪寒冷地における気候変動下の農業用水管理に関する研究
- ・北方海域の物理環境改変による生物生産性の向上に関する研究
- ・田畑輪作を行う大区画水田における灌漑排水技術と用水計画手法に関する研究
- ・地下灌漑を伴う泥炭水田輪作圃場における土壌養分制御技術に関する研究
- ・大規模畑作地帯における排水施設の機能診断に関する研究

3. 評価委員会

内部評価委員会と外部評価委員会は、下記のように再編成した

- ① 内部評価委員会は、(つくばと寒地を) 一本化
- ② 外部評価委員会は、(つくばと寒地の) 分科会の縦割りを解消

1) 内部評価委員会の委員構成について



※重点以下の評価と部会の設置

- ・重点以下の課題については、第1部会(つくば) 第2部会(寒地)として、それぞれつくば分、寒地分の評価を行う。結果を委員長に報告する。

※グループ長等の扱いについて

- ・グループ長等については、部会については、出席を任意とする。

※評価シートの記入について

- ・理事長、寒地所長及びICCHARMセンター長を含め、出席した委員は、評価シートに評価内容を記入。

2) 外部評価委員会

外部評価委員会は4つの分科会から構成され、各分科会の会長、副会長（2名）からなる土木研究所評価委員会（本委員会）を上位とする。（委員構成は、研究評価要領の別表4、別表5に記載）

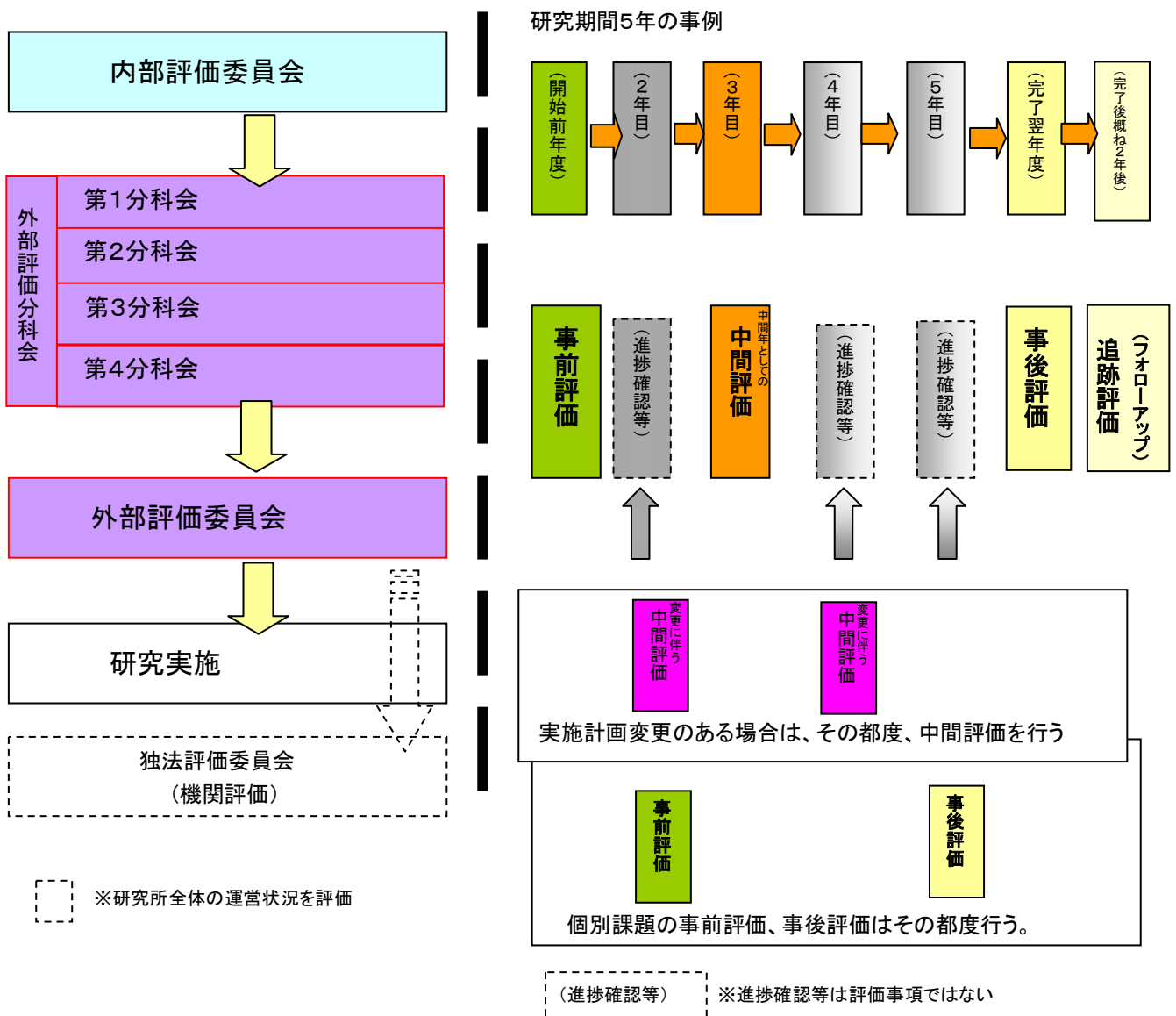
分科会	対象分野	評価対象プロジェクト研究
第1分科会	自然災害の防止、軽減、早期復旧	<ul style="list-style-type: none"> ①気候変化等により激甚化する水災害を防止、軽減するための技術開発 ②大規模土砂災害等に対する減災、早期復旧技術の開発 ③耐震性能を基盤とした多様な構造物の機能確保に関する研究 ④雪氷災害の減災技術に関する研究 ⑤防災・災害情報の効率的活用技術に関する研究
第2分科会	社会資本の戦略的な維持管理・長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ⑬社会資本ストックをより永く使うための維持・管理技術の開発と体系化に関する研究 ⑭寒冷な自然環境下における構造物の機能維持のための技術開発 ⑮社会資本の機能を増進し、耐久性を向上させる技術の開発 ⑯冬期道路のパフォーマンス向上技術に関する研究
第3分科会	社会インフラのグリーン化	<ul style="list-style-type: none"> ⑥再生可能エネルギーや廃棄物系バイオマス由来肥料の利活用技術・地域への導入技術の研究 ⑦リサイクル資材等による低炭素・低環境負荷型の建設材料・建設技術の開発
第4分科会	自然共生	<ul style="list-style-type: none"> ⑧河川生態系の保全・再生のための効果的な河道設計・河道管理技術の開発 ⑨河川の土砂動態特性の把握と河川環境への影響及び保全技術に関する研究 ⑩流域スケールで見た物質の動態把握と水質管理技術 ⑪地域環境が自然生態系の保持に与える影響に関する研究 ⑫環境変化に適合する食料生産基盤への機能強化と持続性のあるシステムの構築

4. 評価の流れ

1) 研究評価の大枠

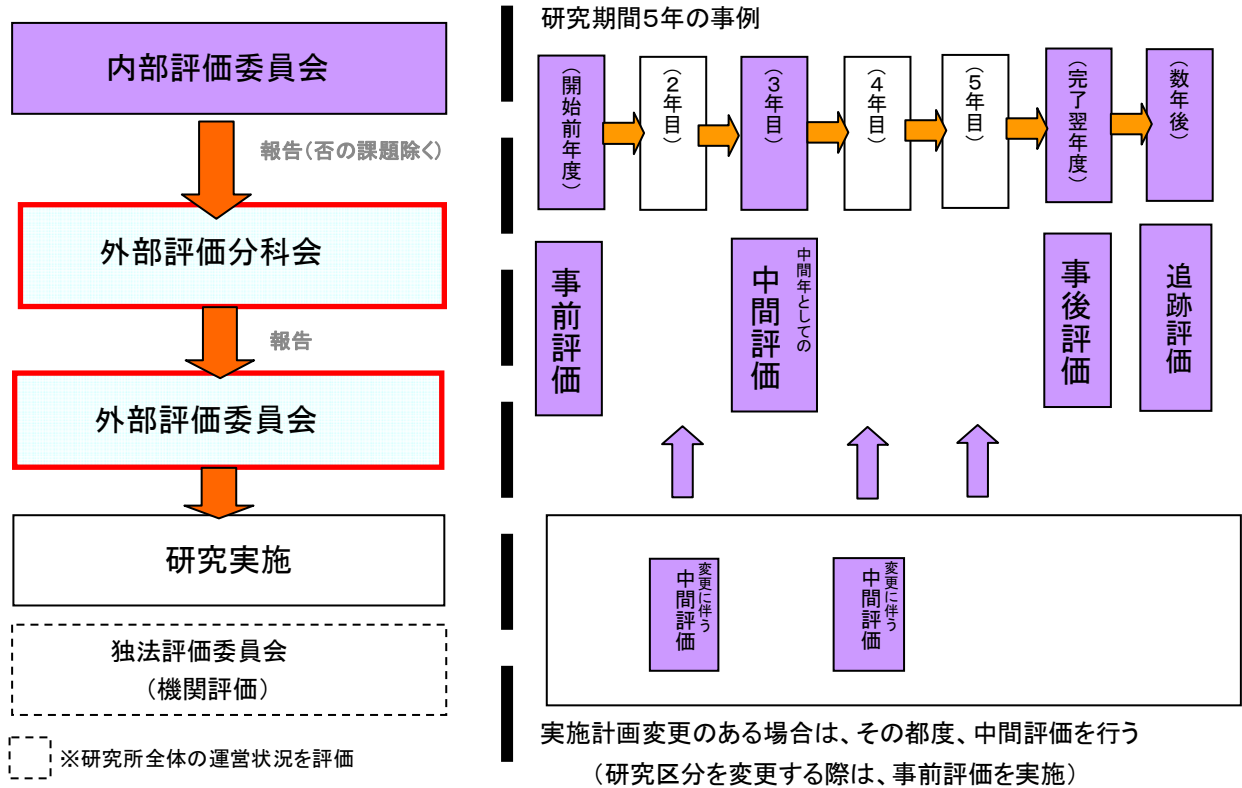
- 研究の評価は、開始前年度の事前評価、中間年度の中間評価、完了翌年度の事後評価の3つを基本とし、数年後に追跡評価を行う。
- その他、研究計画の変更を行う場合には、変更に伴う中間評価を受ける必要があり、中間評価には、中間年としての評価と、実施計画書の変更に伴う評価の2種類がある。
- 中間年としての中間評価については、研究期間が3年以下の場合は、実施しない。
- プロジェクト研究の各評価は、内部評価、分科会、外部評価の流れで、審議の積み上げが行われる。

研究評価要領に基づく研究評価フロー(プロジェクト研究)



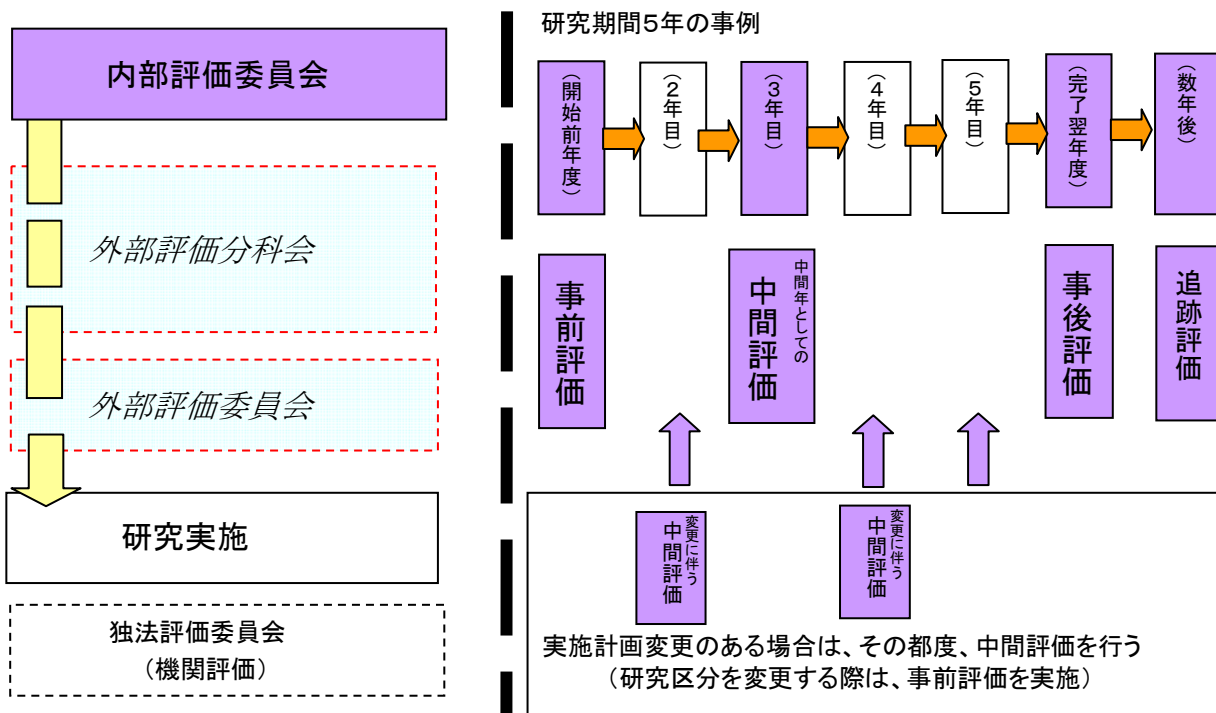
重点研究については、内部評価委員会での評価を踏まえ、否となった課題を除き、分科会において全ての個別課題の報告を行い、アドバイスを受ける。

研究評価要領に基づく研究評価フロー(重点研究)

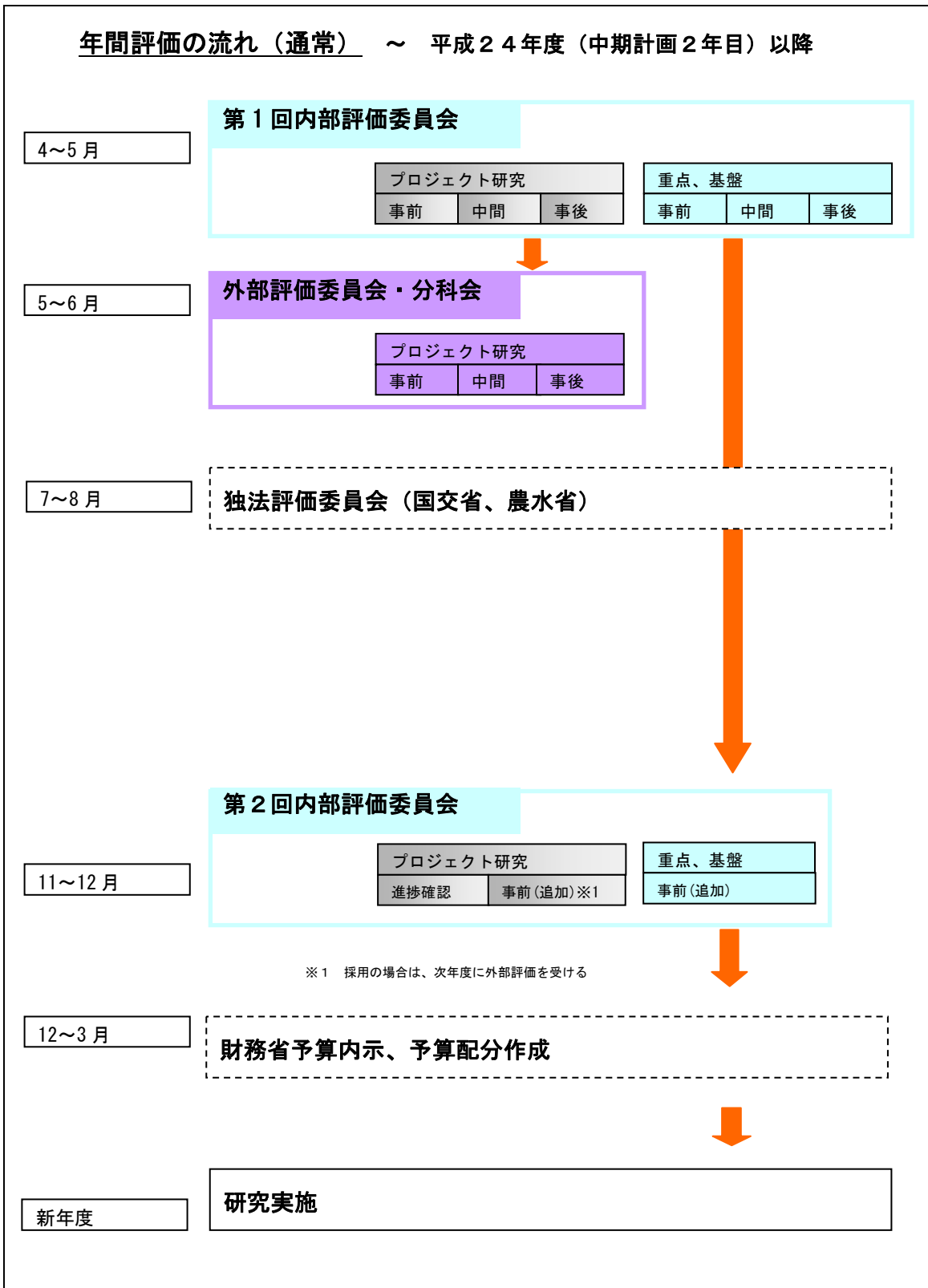


基盤研究については、内部評価委員会でのみ評価を行い、外部評価委員会での評価は行わない。

研究評価要領に基づく研究評価フロー(基盤研究)



- ・内部評価委員会は年2回、外部評価委員会および各分科会は年1回開催を基本とする。
- ・内部評価委員会は、外部評価委員会、およびその後の独法評価委員会（機関評価）と連動させ、研究所組織のマネジメントサイクルの核としての運営を図る。
- ・その他、大きな変革等に対応しては、臨時で内部評価委員会を開催。



2) 評価シートと実施計画書

実施計画書

				様式1
				(作成・修正)年月日:平成 年 月 日
				取りまとめ(作成)者:
プロジェクト研究実施計画書(総括)				
重点的研究 開発課題名		プロジェクト 研究名		
研究期間	平成 年度 ~ 年度	総予算(要求額)		
研究体制	プロジェクトリーダー			
	担当チーム名(グループ名)			
	その他(他機関との連携等)			
研究の 必要性	社会的 要請			
	土研実施 の必要性	※国総研との関係(国との役割分担)、民間でやれない(やらない)ことの理由を記述する。		
研究目的	※(中期計画別表1-1の)重点的研究開発課題との関係が分かるように記述する。			
研究概要				
プロジェクト研究として実施しなければならない理由				
本研究で得られる 具体的な成果(達成目標)と 達成時期	具体的成果(達成目標)	達成時期	成果の反映及び社会への還元	
	※中期計画別表1-1の「中期目標期間中の研究成果」を記載する。		※中期計画別表1-1の「成果の反映及び社会への還元」を記載する。	
個別課題 (チーム名)	1.		6.	
	2.		7.	
	3.			
	4.			
	5.			
本研究に関わる 既往の研究名(本研究との 差異)	※本研究に関わる既往の研究名を記載し、カッコ書きで本研究との差異を記述する。 ① ② ③			

プロジェクト研究実施計画書 (個別課題)						
課題名						
種別	<input type="checkbox"/> 運営費交付金		総予算 (要求額) ^{*4}			
	<input type="checkbox"/> その他		研究期間 (予定)	平成 年度～ 年度		
重点的研究開発課題名						
プロジェクト研究名 (総括課題)						
研究体制		チーム名 (グループ名)				
		担当者名 ^{*5}				
研究の必要性	社会的要請					
	<input type="checkbox"/> 国が実施する関連行政施策の立案に反映する研究 <input type="checkbox"/> 技術基準の策定等に反映する研究 <input type="checkbox"/> その他 ※上2つのいずれかにチェックを入れた場合、具体的に反映させる関連行政施策名、技術基準名を記載する。その他にチェックした場合は、国総研との関係 (国との役割分担)、民間でやれない (やらない) ことの原因を記述する。					
研究目的		※プロジェクト研究 (総括課題) との関係が分かるように記述する。				
研究概要		※研究手法について、具体的に記述する。				
プロジェクト研究として実施しなければならない理由		※前中期計画の重点プロジェクト研究と関連がある研究の場合は、その関係性について記述する。				
本研究で得られる具体的な成果 (達成目標)		【本研究の期末に得られる成果を、具体的に記述】				
		①				
		②				
年次計画 ^{*7} ※項目については、上記の達成目標毎に、必要に応じ項目を分けて記述すること (分担研究の場合は、チームの役割分担が分かるように記述すること)		項目	年度	年度	年度	年度
		①				
		②				
		③				
		予算 (要求額) (千円) ^{*8}				
共同研究等、他機関との連携体制		共同研究等の区分				
		連携の理由と連携する機関等 (※分かる範囲で出来るだけ明確に記述する)				
		共同研究 ^{*6}				
		その他(委託研究を含む)				

評価にあたっては、次の各評価シートを使用し、委員による総合評価を行う。
事前評価シート

様式 4

プロジェクト研究（総括）事前評価シート

評価者氏名： _____

プロジェクト研究名			プロジェクトリーダー		
研究担当					
研究期間	平成 年度～ 年度		予算総額	(百万円)	
評価項目	自己評価	評価委員の評価、評価の理由			
研究の必要性 (問題認識)	【社会的要請】 本研究に対してどのような社会的要請があると考えているか。	※ 実施計画書（様式1）の内容を記載する。	社会的要請に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
	【土研実施の必要性】 本研究を、土研が実施すべき理由はなにか。（国、民間でなく）	※ 実施計画書（様式1）の内容を記載する。	土研実施の必要性に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
本研究で得られる成果 (達成目標)	【達成目標の設定】 本研究期間内に達成しようとしている目標は適切か。	※ 実施計画書（様式1）の内容をまとめて記述する。	達成目標の設定範囲は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
個別課題の構成	【個別課題の設定】 上記の目標を達成するため、設定した個別課題は必要十分なものと考えているか。	※ 実施計画書（様式1）の内容をまとめて記述する。	課題構成は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 課題の追加 <input type="checkbox"/> 課題の削除 <input type="checkbox"/> 類似課題の整理		
	【研究体制】 目標達成のため、どのような連携体制（所内・所外）が必要と考えているか。	※ 実施計画書（様式1）の内容をまとめて記述する。	研究の実施体制は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 所内の体制が不適切 <input type="checkbox"/> 外部との連携が不適切		
	【予算規模】 上記の達成目標を実現するため、要求する予算額は必要かつ十分と考えているか。	※ 実施計画書（様式1）の総予算（要求額）を記載し、それ以外に記述すべき事項があれば記述する。	予算規模は <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 多すぎる <input type="checkbox"/> 少なすぎる <input type="checkbox"/> 判断材料が不足している		
総合評価	<input type="checkbox"/> 実施計画書に基づいて実施 <input type="checkbox"/> 上記指摘に基づいて実施計画書を修正した後、実施 <input type="checkbox"/> 上記指摘に基づいて実施計画書を見直した後、再審議		【その他の研究内容の改善にあたってのアドバイス】		

様式 7 - 2

外部評価 事前評価シート（プロジェクト研究（個別課題））

研究課題名			研究責任者		
プロジェクト研究名（総括課題）					
研究予算	■ 一般勘定		研究期間	平成 年度～ 年度	
評価項目	研究責任者の認識・研究内容等		予算総額	(千円)	
研究の必要性 (問題認識)	【社会的要請】 本研究に対してどのような社会的要請があり、どのような社会的貢献(アウカム)が求められているか。	※ 実施計画書（様式2）の内容を記載する。	社会的要請・社会的貢献に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
	【土研実施の必要性】 本研究を、土研が実施すべき理由はなにか。（国、民間でなく）	※ 実施計画書（様式2）の内容を記載する。	土研実施の必要性に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
本研究で得られる成果 (達成目標)	【研究としての位置づけと研究方法】 達成目標に対する具体的なアプローチの手法を簡潔に記す	※ 格上/下に伴う事前評価の場合は、格上/下前の研究との関係性について記述する。 また、本研究と密接に関係のある他機関がある場合については、その関係性を記述する。	研究としての位置づけと研究方法に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である		
	【達成目標の内容】 本研究の達成目標は具体的に適切か。また社会的貢献(アウカム)との関係はどうか。	※ ニーズに対する具体的な成果をもって事業や社会へ貢献することが重要であり、具体的な達成目標を記述する。	達成目標の内容(成果、アウカム)は <input type="checkbox"/> 具体的に適切である <input type="checkbox"/> 抽象的または不適切なものがある <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である		
	【成果普及方策】 達成目標毎に事業等に結びつく成果普及方策を予め考えているか	※ 技術基準やマニュアル等への展開に向けたロードマップあるいは技術の普及についての活動展開等について記述する。	成果の普及方策は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である		
実施体制	【研究の年次計画と研究方法】 目標に対して適切な年次計画、研究方法となっているか。	※ 達成目標に所要の年次で到達するため、研究方法が適切な年次計画で設定されているかを記述する。	研究の年次計画は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である		
	【実施体制】 どのような連携体制となっているか。	※ 効果的かつ効率的に成果を出すには、適切な連携体制の構築が必要。	実施体制は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である		
	【予算】 予算の規模や使途が適切か。		予算の規模・使途は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である <input type="checkbox"/> 判断材料が不足している		
総合評価	<input type="checkbox"/> 実施計画書に基づいて実施 <input type="checkbox"/> 上記指摘に基づいて実施計画書を修正した後、実施 <input type="checkbox"/> 上記指摘に基づいて実施計画書を見直した後、再審議 <input type="checkbox"/> 中止		【その他の研究内容の改善にあたってのアドバイス】		
プロジェクト研究の個別課題として					

内部評価 事前評価シート【プロジェクト研究（個別課題）】

研究課題名		研究責任者	
プロジェクト研究名（総括課題）		研究期間	平成 年度～ 年度
研究予算		予算総額	(要金額) (千円)
■一般勘定			
評価項目	研究責任者の認識・研究内容等		評価委員の評価、評価の理由
研究の必要性 (問題認識)	【社会的要請】本研究に 対しどのような社会的要 請があり、どのような社 会的貢献(ｱｯﾄｶﾞ)が求め られているか。	※ 実施計画書（様式2）の内容を記載する。	社会的要請・社会的貢献に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である
	【土研実施の必要性】 本研究を、土研が実施 すべき理由はなにか。 (国、民間でなく)	※ 実施計画書（様式2）の内容を記載する。	土研実施の必要性に対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である
本研究で 得られる成果 (達成目標)	【研究としての位置づけ と研究方法】達成目標に 対する具体的なアプロ ーチの手法を簡潔に記す	※ 格上げに伴う事前評価の場合は、格上げ前の研究との関係性につ いて記述する。 また、本研究と密接に関係のある他機関がある場合については、その 関係性を記述する。	研究としての位置づけと研究方法に 対する認識は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切である
	【達成目標の内容】 本研究の達成目標は具 体的で適切か。また社 会的貢献(ｱｯﾄｶﾞ)との関係 はどうか。	※ ニーズに対する具体的な成果をもって事業や社会へ貢献することが 重要であり、具体的な達成目標を記述する。	達成目標の内容（成果、ｱｯﾄｶﾞ）は <input type="checkbox"/> 具体的で適切である <input type="checkbox"/> 抽象的または不適切なものがある <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である
	【成果普及方策】 達成目標毎に事業等に 結びつく成果普及方策を 予め考えているか	※ 技術基準やマニュアル等への展開へ向けられたロードマップあるいは技 術の普及についての活動展開等について記述する。	成果の普及方策は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である
実施体制	【研究の年次計画と研 究手法】目標に対して適 切な年次計画、研究手法 となっているか。	※ 達成目標に所要の年次で学識するため、研究方法が適切な年次計画 で設定されているかを記述する。	研究の年次計画は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である
	【実施体制】 どのような連携体制と なっているか。	※ 効果的かつ効率的に成果を出すには、適切な連携体制の構築が必要。	実施体制は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である
	【予算】 予算の規模や使途が適切 か。		予算の規模・使途は <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 一部見直しが必要である <input type="checkbox"/> 計画全体に見直しが必要である <input type="checkbox"/> 判断材料が不足している
総合評価	【その他の研究内容の改善にあたってのアドバイス】		
プロジェクト研究の 個別課題として	<input type="checkbox"/> 適切 である	<input type="checkbox"/> 実施計画書に基づいて実施 <input type="checkbox"/> 上記指標に基づいて実施計 画書を修正した後、実施	
	<input type="checkbox"/> 不適切 である	<input type="checkbox"/> 重点研究 <input type="checkbox"/> 基盤研究 <input type="checkbox"/> 中止	

中間評価シート

様式 5 - 1

中間年における中間評価シート 【プロジェクト研究（総括）】

プロジェクト名			予算総額	
研究担当			プロジェクトリーダー	
研究期間				

達成目標と進捗度	実施計画に掲げた達成目標	研究の進捗状況	進捗状況（自己評価）
		*達成目標ごとに記述する。 *研究の内容を簡潔にまとめるとともに、現時点における成果や進捗状況を記載	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
発表論文	*本研究に関する論文について、査読付、査読なしを国内・海外に分けて総数を記入する。個別の論文名は、関係する個別課題のシートに記入する。		
事業・社会への貢献	*現場への適用、技術基準等の作成などについて、現時点における見通しを記述する。		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> * 研究の成果や達成状況の分析 * 研究の目的・必要性・課題構成について現時点における分析 * 軌道修正の必要性 * 予定通り進捗しないことに対する原因分析 		

計画変更	変更箇所	変更理由
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 個別課題の設定 <input type="checkbox"/> 研究体制 <input type="checkbox"/> 予算規模 <input type="checkbox"/> その他	

評価委員の評価		
進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり	【評価者のコメント】
成果の発表	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
総合評価（研究の継続）	<input type="checkbox"/> 当初計画どおり、研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を修正して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を見直しして再審議 <input type="checkbox"/> 右の理由により 中止	

様式 8 - 1

中間年における中間評価シート 【プロジェクト研究（個別課題）】

プロジェクト名（総括課題）			プロジェクトリーダー	
個別課題名			研究担当	
研究期間			予算総額	

達成目標と進捗度	実施計画に掲げた達成目標	研究の進捗状況	進捗状況（自己評価）
	①		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	②		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	③		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	④		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
発表論文	*本研究に関する論文について、査読付、査読なしを国内・海外に分けて全て掲載する。		
事業・社会への貢献	: 現場への適用、技術基準等の作成などについて、現時点における見通しを記述する。		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> * 研究の成果や達成状況の分析 * 研究の目的・必要性・課題構成について現時点における分析 * 軌道修正の必要性 * 予定通り進捗しないことに対する原因分析 		

計画変更	変更箇所	変更理由
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 達成目標 <input type="checkbox"/> 研究体制 <input type="checkbox"/> 研究期間 <input type="checkbox"/> 研究予算 <input type="checkbox"/> 年次計画 <input type="checkbox"/> その他	

評価委員の評価		
進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり	【評価者のコメント】
成果の発表	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
総合評価（研究の継続）	<input type="checkbox"/> 当初計画どおり、研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を修正して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を見直しして再審議 <input type="checkbox"/> 右の理由により 中止	

計画変更に伴う中間評価シート 【プロジェクト研究（総括）】

プロジェクト名			
研究担当		予算総額	
研究期間		プロジェクトリーダー	

達成目標と進捗度	実施計画に掲げた達成目標	研究の進捗状況	進捗状況（自己評価）
		＊達成目標ごとに記述する。 ＊研究の内容を簡潔にまとめるとともに、現時点における成果や進捗状況を記載	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
発表論文	＊本研究に関する論文について、査読付、査読なしを国内・海外に分けて総数などを記入する。個別の論文名は、関係する個別課題のシートに記入する。		
事業・社会への貢献	＊現場への適用、技術基準等の作成などについて、現時点における見通しを記述する。		
自己評価	＊ 研究の成果や達成状況の分析 ＊ 研究の目的・必要性・課題構成について現時点における分析 ＊ 軌道修正の必要性 ＊ 予定通り進展しないことに対する原因分析		

計画変更	変更箇所	変更理由
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 個別課題の設定 <input type="checkbox"/> 研究体制 <input type="checkbox"/> 予算規模 <input type="checkbox"/> その他	

評価委員の評価	
進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
成果の発表	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分
総合評価（研究の継続）	<input type="checkbox"/> 提案どおり 実施計画を変更して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を修正して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を見直しして 再審議 <input type="checkbox"/> 当初計画どおり、研究を継続（計画変更不可） <input type="checkbox"/> 右の理由により 中止
【評価者のコメント】	

計画変更に伴う中間評価シート 【プロジェクト研究（個別課題）】

プロジェクト名(総括課題)			プロジェクトリーダー	
個別課題名			研究担当	
研究期間			予算総額	

達成目標と進捗度	実施計画に掲げた達成目標	研究の進捗状況	進捗状況（自己評価）
	①		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	②		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	③		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
	④		<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
発表論文	＊本研究に関する論文について、査読付、査読なしを国内・海外に分けて全て掲載する。		
事業・社会への貢献	＊現場への適用、技術基準等の作成などについて、現時点における見通しを記述する。		
自己評価	＊ 研究の成果や達成状況の分析 ＊ 研究の目的・必要性・課題構成について現時点における分析 ＊ 軌道修正の必要性 ＊ 予定通り進展しないことに対する原因分析		
計画変更	変更箇所	変更理由	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 達成目標 <input type="checkbox"/> 研究体制 <input type="checkbox"/> 研究期間 <input type="checkbox"/> 研究予算 <input type="checkbox"/> 年次計画 <input type="checkbox"/> その他		

評価委員の評価	
進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや問題あり <input type="checkbox"/> 問題あり
成果の発表	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分
総合評価（研究の継続）	<input type="checkbox"/> 提案どおり 実施計画を変更して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を修正して 研究を継続 <input type="checkbox"/> 右の指摘を踏まえて、研究計画を見直しして再審議 <input type="checkbox"/> 当初計画どおり、研究を継続（計画変更不可） <input type="checkbox"/> 右の理由により 中止
【評価者のコメント】	

5. 平成22年度（11月以降）の評価

平成22年度（11月以降）の研究評価委員会の流れは以下のとおりである。

平成23年度からの新しい中期目標に係る「独法評価委員会」の開催も視野に、内部評価、分科会、外部評価を実施した。

内部評価委員会

内部評価委員会	開催日・場所
内部評価委員会 【プロジェクト研究】	平成22年11月16、17、18日 土木研究所特別会議室
第1部会(つくば) 【プロジェクト研究以外】	平成22年12月7、8日 土木研究所特別会議室
第2部会(寒地) 【プロジェクト研究以外】	平成22年12月14、15日 寒地土木研究所講堂

外部評価委員会

分科会名	開催日・場所
第1分科会	平成23年1月11日 砂防会館別館
第2分科会	平成23年1月19日 東京グリーンパレス
第3分科会	平成23年1月19日 東京グリーンパレス
第4分科会	平成23年1月14日 TKP東京駅日本橋ビジネスセンター

研究評価委員会	開催日・場所
本委員会	平成23年1月31日 都市センターホテル



機関評価（独法評価委員会 農業技術分科会） 2月 7日、3月 9日
機関評価（独法評価委員会 土研分科会） 2月16日、3月 7日

予算

12月 財務省予算内示
2～3月 課題毎の予算配分